

競技注意事項

1 競技規則について

2019年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項による。

2 練習について

- ① 練習会場は、陸上競技場トラック、トラック外周、フィールド、雨天走路を使用すること。練習に際しては競技役員の指示にて安全に練習すること。練習会場の開放時間・場所については、栃木陸協 Web サイト等で別途提示する。
- ② 投てき練習については、競技前の練習試技のみとする。
- ③ 陸上競技場外の総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。（ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。）選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習は禁止する。

3 競技場について

スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

4 招集について

- ① 招集所は、第4ゲート（200mスタート）外側付近に設ける。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものと処理する。
- ③ 招集開始及び完了時刻は、下記の通りである。

| 種目 | 招集開始 | 招集完了 |
|-------------------|---------|------|
| トラック種目 | 20分前 | 15分前 |
| 走高跳・走幅跳・三段跳 | 50分前 | 40分前 |
| 砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投 | 50分前 | 40分前 |
| 棒高跳 | 1時間15分前 | 1時間前 |
| 混成競技1種目（トラック） | 20分前 | 15分前 |
| 混成競技1種目（フィールド） | 50分前 | 45分前 |

*混成競技の2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技10分前 フィールド20分前に現地で行う。

- ④ 招集完了5分前までに招集所のベンチで待機し、最終点呼を受ける。その際ナンバーカード、スパイクシューズ等の点検を受ける。
- ⑤ 招集は、本人が招集所において受けること。ただし、同一時間に他の種目と兼ねて出場する者は、競技者係及び当該審判主任に申し出て了解を得ること。この場合代理人を認める。

5 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集完了時刻までに棄権する旨を招集所競技者係に申し出ること。

6 入退場について

競技者は、招集完了と同時に係員の指示に従って競技場に入場する。また、競技終了後も競技役員の指示に従って規律ある行動をとること。

7 ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは、胸と背に1枚ずつ確実につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背に1枚つけるだけでよい。
- ② トラック種目では、招集所にて腰用のナンバーカードを右腰後方につけること。
- ③ ランニングシャツは、確実にランニングパンツの中に入れること。

8 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順について

- ①トラック競技の予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示すので審判員の指示に従うこと。
- ②トラック競技の決勝の組・走路順は本部で抽選し、掲示板・招集所に掲示する。
- ③リレー競走に出場するチームはリレーオーダー用紙を作成し、各ラウンドの第1組目の招集時刻の1時間前までに競技者係に提出する。リレーオーダー用紙は、招集所で配布する。
- ④リレー競技に出場するチームは、原則として同一ユニフォームで参加しなければならない。
- ⑤タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、写真判定主任が0.001秒単位まで測定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条)

9 跳躍競技(高さ・踏切板の距離)について

(※審判長の判断で、変更することもある)

| 種目 | | 練習 | 競技 |
|-----------|----|-----------|--|
| 走高跳 | 男子 | 1.70/1.85 | 1.75~1.80~1.85~1.90~1.95~2.00・・・ |
| | 女子 | 1.30/1.45 | 1.35~1.40~1.45~1.50~1.55~1.60・・・ |
| 棒高跳 | 男子 | 2.70/4.00 | 2.80~3.00~3.20~3.40~3.60~3.70~3.80・・・ |
| | 女子 | 1.70/2.50 | 1.80~2.00~2.10~2.20~2.30~2.40・・・ |
| 中学走高跳 | 男子 | 1.40/1.60 | 1.45~1.50~1.55~1.60~1.70 以後3cm |
| | 女子 | 1.15/1.40 | 1.20~1.25~1.30~1.35~1.40~1.45 以後3cm |
| 中学棒高跳 | 男子 | 2.40/3.00 | 2.50~2.60~2.70~2.80~2.90・・・ |
| 八種走高跳 | | 1.40/1.70 | 1.45~1.50~1.55~1.60~1.65 以後3cm |
| 七種走高跳 | | 1.20/1.40 | 1.25~1.30~1.35~1.40~1.43 以後3cm |
| 中学(四種)走高跳 | 男子 | 1.35/1.50 | 1.40~1.45~1.50~1.55~1.60~1.65~1.70 以後3cm |
| | 女子 | 1.10/1.25 | 1.15~1.20~1.25~1.30~1.35~1.40~1.43 以後3cm |

- ①上記以後の高さについては、跳躍審判長の指示による。
- ②第1位決定のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- ③十種競技の棒高跳の高さについては、現地にて相談の上実施する。
- ④雨天の際は、協議の上変更することもある。
- ⑤三段跳における踏切板の距離については、男子11m・女子9mとする。

10 用器具について

競技に使用する用器具は、検査を受け合格したものについてのみ用できる。ポール検査は、招集後現地にて行う。やりの検査については、招集完了1時間前から招集完了までの間に用器具庫B倉庫にて行う。

11 表彰について

A決勝の1位~3位まで賞状を授与する。

12 リレー種目で複数チームの参加について(本大会のみ)

A, B, C・・・各チームそれぞれに6名エントリーした競技者は、最終ラウンドまで競技者を入れ替えることはできない。(Bの競技者をAチームへ)

13 競技について

- ①不正スタート1回で、失格とする。
- ②長距離種目において競技運営上、下記の所要時間を超えた場合、新しい周回に入れない。
男子5000mは18分、女子は21分。

男子 5000m 競歩は 30 分、女子 5000m 競歩は 33 分。

競技運営上、混合レースになった場合は、女子の制限時間とする。

競技運営上、出場者 1 名でも次の競技に支障を来す場合には、審判長が競技を中止させる場合がある。

- ③リレー種目は原則として、各団体及び各学校とも 1 チームとする。
(B チーム以降については、オープンとする。A・B チーム選手の交替は不可)
- ④5000m 以上の種目の給水については、気象状況等を考慮し設置する。

14 その他

- ① 競技中の傷病などについては、主催者が応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ② 開会式については、別に指示する。
- ③ 高校・大学・一般の各チームの待機場所については、栃木陸上競技協会が指定した場所とする。
中学校は中体連の申し合わせに準じて待機場所を決定する。
各チームのテント設置は、本競技場メインスタンド以外の芝生席のみとする。競技場外の公園敷地にテントを設置することは一切禁止する。またメインスタンドのテント設置は、観客の妨げになるので禁止とする。
各チームベンチとして、雨天練習場・更衣室・ダッグアウト等を占領してはならない。
雷発生時などの非常時には、競技役員の指示にて屋内に避難する。
- ④雨天走路の使用については、衝突防止等のため一方通行とする。
- ⑤更衣室については、男女共スタンド下更衣室を使用する。
- ⑥応援は、スタンドで行う。スタンド最前列での集団応援は禁止とする。また、トラック・フィールド内での応援は、禁止する。
- ⑦盗難防止には、各自十分留意する。
紛失については、競技場大会本部庶務係で保管する。
- ⑧写真撮影・ビデオ撮影については、許可制とする。競技場 1 階受付で、記名・連絡先等を記入し、許可帽子を受け取る。帽子は、常に身につけ撮影する。

15 災害時の避難場所

会場責任者の判断により、避難の放送が入りますので避難誘導係の指示に従って落ち着いて行動してください。

* 本大会は、全国都道府県対抗男子・全国女子駅伝競走並びに東日本女子駅伝大会の栃木県選手選考会を兼ねます。

(男子 5,000m, 女子 5,000m, 男子 3,000m, 女子 3,000m)